

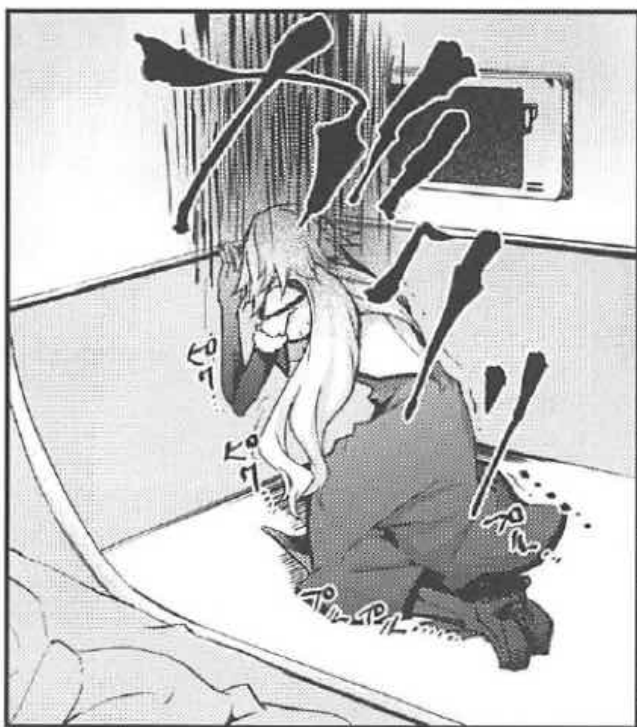
逆レイプ
アザ
シヤ

シヤ
ヌ
タル
オル
タ

R-18







誰が私の自由を保証し
ただ一人の英霊と扱ったところで
いや、そうであればある程
この起源からは逃れ得ない

あの女はこんな事
絶対していないに
決まっているもの!!

無防備な
マスターですこと

一息で散ってしまう
弱い人間のくせに……

殺しは、しない

ああ……

この情動は

憎悪ではなく
しかし同じくらいに
熱く煮え滾って

けれどそっくりな
わるいモノだ

さっきの口吻で確信した
私の中にある、この衝動

あなたが一体
どんな顔をするのか
見てみたい

あなたの心を
グチャグチャに
掻き乱して

私のこの心の泥で
汚染させてしまいたい



ふん
こんなもんで
いいでしょう



……よし



しかし……
起きないわね……

今のところ
都合とはいえ……
変な奴に夢の中で攫われて
たりしないでしょうねえ

肝心なところでもずっと
寝っぱなしだと困るわ



いいえ
ダメ
まだダメ

もっとしっかり
取り返しのつかない
状況まで持っていかなくちや



……なんか
心配してるみたいで
腹が立ってきた……

デコピンでも
食らわせて……



ふふふ……
 これでいきなり
 勃起した性器が飛び出てきて
 驚いたり怯んだり……

なんてテンプレパターンが
 私に効くものですか
 知っていれば恐れる事など何も



何なのよもう！
 大きいのが出てきても
 だっさいリアクションしない様に
 心の準備をしていたというのに！

憎い……！
 何で憎い肉棒なの
 このままもぎ取って
 やりたいくらいだわ！



……ああ、これは
 そうだ、この
 この気持ちは



純粹な
憤怒

いいえ、これは
むしろチャンス！

小さい状態から
弄ぶ事でより大きな
恥辱を与えるのよ！

そわ...

.....

そわ...

.....どこを、どうすれば
どのくらいの強さでやれば...

ああもう！！
面倒臭い！！

口でやってしまうのが
手っ取り早いでしょう
多分！！

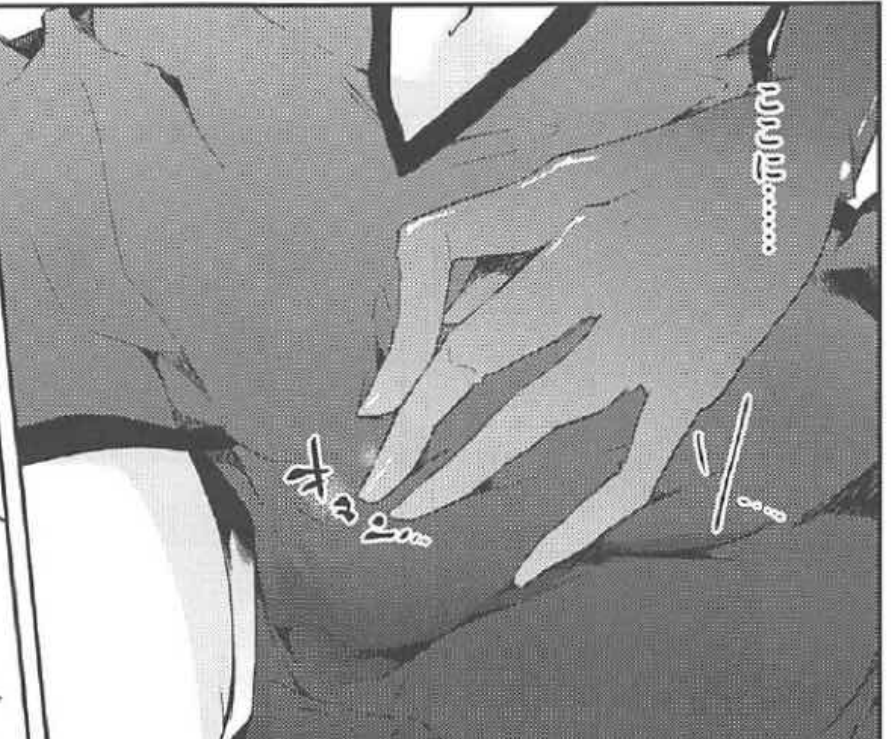
ぶにゅぶにゅして
いて...ちよっと
独特の味も

あ、なんか
ドクドク脈が...

少し、かた...

??

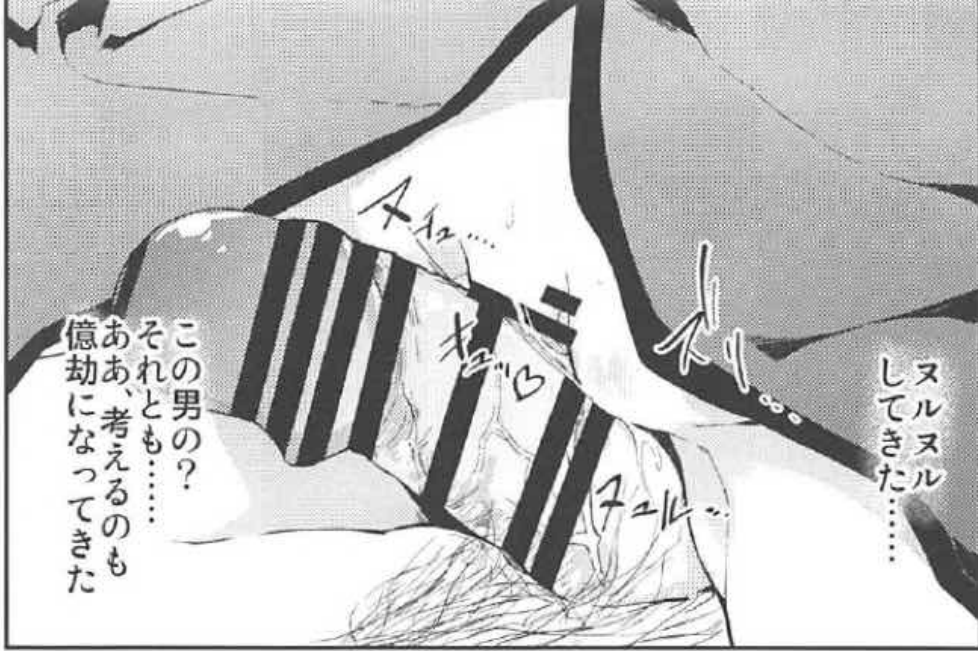
ズオン





熱い……
この男の脈を
感じる……

ヌルヌル
してきた……



この男の？
それとも……
ああ、考えるのも
億劫になってきた



い、痛い！

お、思ったより……
かなりっ！！



あ……
もう、いや

挿入れちゃえっ



さ、裂けたじゃないの
このバカちゃんこ！！

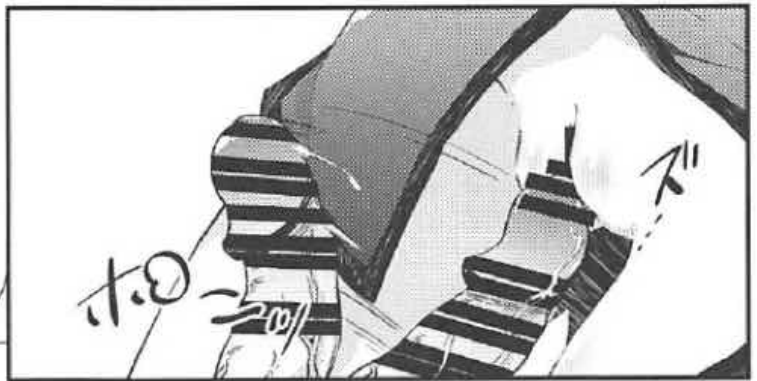
でも……
ふ、フフフ

どう？
貴方の全部
私に呑み込まれて



いいいやいや
これは予行演習！
そうレイプして
痛がってるなんて
バカらしすぎるもの！

でももうコレで
大丈夫になったわ……
だから無駄じゃない……
決して無駄ではなかった
のよ私……と、いうわけで





えっ
じゅるたさん!?

何これ!
縛られ!?

はん、わからないの?
今から貴方を犯すのよ!

な、何で
そんな事



貴方がそれを
決して望まない
からよ



何で?

決まってる
じゃない



私を説得してみる?
けどそれは無駄
生憎興が乗って
しまってるの

助けを呼ぶ?
しないわよね

だって、こんな
場面に助けを呼んだら
私にとって致命的ですものね



言ったでしょ？
炎で焼いてあげるって

わかる？
これがその
一つのカタチ

あなたのすべてを
こうやって……



なあに？
その顔

やっぱりやめて
欲しいのね？
いいわすこくいい



もっともっと

ひてあえはふ
なっへ……



じゃあ次は
お腹のナカに
貰わなくちゃ



んくっ……

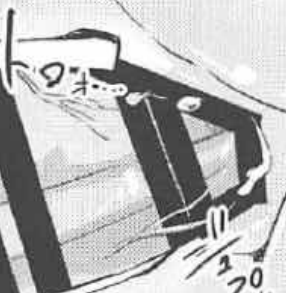
はあく……
これ、おいしい

ああ、なるほど
本当にこんなので
魔力供給になるのね



ほら、見える？
見なさいよ

貴方のグロい
男性器が挿入して
いるのを





どうしたの？

気持ちよくなってきたのかしら？

いいんですよ素直になってしまつて

自分から腰を振って快樂を貪るがいいわっ

欲しい…

早くナカに…
欲しくなってきた

ああ、わかるくる、もうすぐ…





ふふ、精と魔力を
貪るなんて、まるで
淫魔にでもなった気分



ご褒美でしょう？

ほら、舐めさせて
あげるから元氣
出しなさいよ



ふん
いつまでそんな
濡れた犬みたいな
顔しているのよ



血の…味？

っ……
あれ？



あ、あの ジャルタさん？



もしかして 初めて…だった？



は、はあああああああ？！



そんなわけないでしょ！
2回目、2回目よ！
貴方が寝ている間に
既に一回……



もうっつっ!!
余計なコト
喋る体力も考える気力も
もう残さないんだから!!



口もっ
塞いであげる

んっ?
んっ...



ほら、私の
胸の感触も

ありがたいが
堪能するが
いいわっ

んっ
んっ



また

あっ!
くるっ

熱くて
痺れるような
あの波が



っはあ……♡
また、カタくなってきた

気持ちいいんでしょう?
いいのよっ
あの女装騎士みたい
に理性トばしてしまえば



まったくね……
仕方ないから今後は
君用に令呪を残して
おく事にするよ
もっと絆を
深めるまでね



ふん、わかったかしら？
あんまり私に関わらない
方がいいと言ったでしょ？



もう
知らないわよ
パーカ



これなら
懲りたら
うん

2017年2月26日
ゴロワースブルー
天ノ原

ジャンヌ・ダルク・オルタ・レイブ・アヴェンジャー

<http://gblue.seesaa.net/>
twitter:amanochiharu
pixiv:14503

印刷 ねこのつと

ゴロウーズブルー

